

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

栄八通信

http://ei-8.info/

第55号

H25年10月発行



武雄市議会議員

宮本 栄八

TEL・FAX 23-0750 携帯 090-5083-0793

合併特例債 86億円から173億円に変更

今議会、新市建設計画が変更された。要は、合併特例債の利用金額の上限を、86億5千万円から、173億円に増額したものだ。

もともと、新武雄市合併にともなう、国の合併推進の為の財政優遇策で、173億円が上限で、その半分の、約86億円をH18年～H27年の10年間で活用すると合併協議会で決めた。

私は、当時から、173億円全額を活用すべきと言ってきたので、結果的には、やった！との気持ち。当時、半分の約86億円しか活用しない理由として、「有利ではないが、借金は借金なので、半分程度で抑えたい。」との理由。

それなら、1市2町も合併せずともよかつたのでは、とも思っていた。今回、173億円が必要となれば、1市2町が役立ったと思う。

【期限の5年延長】
173億円の限度額と同時に期限を5年間延長して、H31年までの15年間と変更した。

今回、変更のきっかけとなったのは、東北の震災関係で、国が特例債の期限を5年間延長した事。

【活用事業】
では、これまでの約10年間の活用は、学校関係35億円・道路関係37億円・消防ほか12億円となつて

今、H25年度が、極端に高くなつている理由は、アベノミクスの経済対策事業をH24年度に処理できず、繰越が10億円以上あるらしい。私は特例債の活用推進派であるが、無駄遣い反対派であるので、今後活用事業の内容もチェックして

地方債と投資的経費一覧 (億円)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
起債(地方債)	17	19	17	15	22	23	29	41	32	43	37	19	19	16	16	
投資	24	27	25	32	33	41	45	62	38	43	36	27	24	18	18	
	← 実績							→ 計画								

合併特例債活用状況 (1億円以上)

学校	道路	消防その他
	一般道路 10.6 武雄温泉周辺 10.4	
武雄小 8.1 武雄中 7.5	主要道路 6.5	
東川登小 4.8 西川登小 4.4 山内中 3.3	鉄道高架 3.3 西浦道路 3.2	防災無線 4.6 市立図書館 2.7 消防施設 2.3
小中ネットワーク1.9 北方中 1.8		武内公民館 1.1

下水処理の新たな動き

今議会、私が10年来、実現を模索していた事が、他議員の一般質問で、市長が実施を明言した。それは何かと、簡単に言えば、フル稼働のし尿処理場の処理稼働率の低い、公共下水道施設で処理するもの(ミックス処理)

他議員の提案は、武雄市衛生処理センターの能力が、日量98kℓに對し、受け入れが、120kℓ程度あり、処理能力をオーバーと指摘。解決策として、公共下水道の処理施設である武雄浄化センターにパイプラインを引き、そこで処理する事で処理費用を下げようとする事でも、同じ水処理をするのに二度手間や非効率な事に疑問を持つが、ここにも国の省庁の縦割りがあり、し尿は、一般廃棄物で厚労省。公共下水道は、産業廃棄物で国交省の所管の壁がある。10年ぐらいい前に、大分県の臼杵市が先進的に実施したのを行政視察に行ったことがあり、それ以来、武雄市での取り組みを願っていたので良かったと思うし、口だけだけでなく、確実に実施してもらいたい。

一方、話は、少し変わるが、私は、北方町の分のし尿処理を大町・江北・白石町で共同処理する杵東地区衛生処理組合に、武雄市議会から、組合議員として出ている。そこで希望して行ったのは、この処理場が昭和59年に竣工して古く、建替え時期を迎えていて、再建設が見込まれる。そこで武雄市が再度共同処理に参加した方が良いのか、それとも北方町分のし尿や農排汚泥を先の武雄市の公共下水道処理場で処理できるかの実態を知りたい思いから。

一方、公共下水道の武雄浄化センターの今の状況は、元々、U字型の処理槽4系列を作る計画だったが、早期の接続が見込めないで、第1系列のU字型をI字型のハーフ2本に変更した。現在、I字ハーフの2本目を作っているが、実際の活用状況は、まだI字1本目の処理能力の50%程度であり、現在工事中の2本目が完成すれば、さらに稼働率が低下し、税金の無駄な状況。

だから、私は今回の、武雄衛生処理センターのし尿をミックス処理する事と、さらに、杵東衛生処理場再建設に参加せず、北方分を公共下水道処理施設で処理する方が良いと思う。



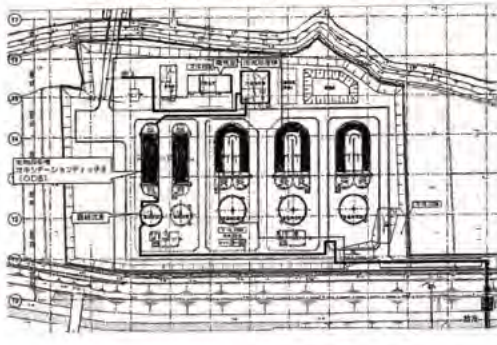
(旧武雄・山内のし尿や汚泥)

パイプライン接続



武雄浄化センター (公共下水道)

<武雄浄化センター計画図>



(北方分のし尿・汚泥を共同処理)

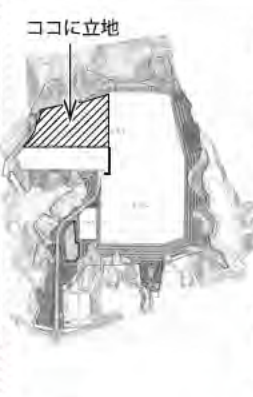
処理できていないように聞こえるが、この状況は、杵東の方でも、日量100kℓに對し、約120kℓと同様の状況であるが、受け入れは、月々金の5日間で、オーバーした分は貯留槽に入れ、機械は土日も処理しているの、適正に処理はできていたので安心を。

インター工業団地に初立地

H23年に完成した、武雄北方インター工業団地は、18haある。総額は約24億円で、坪単価4万6千円。

今議会、18ha中の、3haに薬のコスモス系の物流会社が立地することが表明された。ただこれまで、製造工場などの雇用拡大になる業種を目標にしていたが、今後100名程度の雇用の計画があることと受け入れたとの説明。

残りは、15haで、約20億円の借入れになるが、着工から5年目にあたる、H27年3月には、1回目の返済期限を迎える。約5年間の金利は、土地代に含まれているが、その後は、県と市が折半で



シンガポール進出の身

10月25日より、「日本国地方政務シンガポール事務所」を武雄市が開設する。名前は、重々しいが要は、武雄市の物産販売や観光客の誘致などを市場調査から始めて収益につなげて行くらしい。

実際には、市の職員1名を、派遣して活動すると言うが、予算には、家族の渡航費用もあり、現地に根をおろして進める形である。

ただ、シンガポールは、実績がないと、就労ビザが発行されない。なので、レンタルルームを借りて活動しながら、就労ビザのおりるのを待つと話。



負担する事となっている。

一方、今回の物流会社の、立地する場所は、北側の奥の方である。侵入道を作ったが必要がある。

入り、入口手前を売ったが良かったのではと聞くと、会社側が、土地の硬い、切り土の場所が、基礎工事の経費がやすく抑えられるとして、奥を希望したとの事らしい。

とにかく、まず少しでも売れた事は良かったと思う。

ただ、気になる点もある。それは、この工業団地は、熊本のホンダや長崎のキャノン等が、佐賀県内に大規模工業団地がなく、チャレンスを逃したとの県の方針からスタートしたもので、ねらいは大規模工場、寝かしてでも大物を待つとの方針だったと思う。

残りの15haでもまだ広い方の話だが、再度方針を明確にしていかなければ、金利を払っても当初の方針の大型を待つことに対し、知らない市民の不満が出る可能性もある。

全国学力テスト公表の おかしな点

最近、世間を賑わせたのが、静岡県岡部の川勝知事が、全国最低だった為、学校名を公表すると発言。ただ、このテスト、各教育委員会が、成績を公表しない事が参加条件となっていたため、の騒動。結局、優秀な学校の校長名の公表におちつき決着。

一方、武雄市の教育委員会のホームページには、堂々と学校名と点数が公開されている。

非公表ルールだが、子供を教育する市教育委員会がそれを破って良いのか、公表するならば、参加を辞退すべきではないかと思つた。

教育長の説明では、「公表しているのは、市の教育委員会ではなく各学校が自主的に、発表したものを、市教委が、取りまとめて公表しただけ」との第3者の立場を強調し、ルール違反ではない主張。

中学校名	中学校				小学校			
	中1	中2	中3	中4	小5	小6	小5	小6
武雄中	0	1	0	2	0	6	0	0
北中	2	3	3	2	2	0	4	6
川登中	1	4	4	2	2	1	4	5
山内中	0	1	3	3	0	4	2	2
北方中	0	1	0	1	0	4	2	6

(口は科目数) 県平均以上の数

また、公表は、学校の序列化につながるの考え方については、昨年との結果において各学校にはらつきがあり、序列化、固定化はなっていない」との妙な説明。

ただ、昨年公表した時は、保護者のアンケートで、約70%が賛成だったので、市教委が公表し、しかも、一同に公表することが意味があると思つた。

この一連の説明を聞いて、公表の賛否は別として、私には、各校長が独自に判断して、全学校がたまたま偶然公表したとは、とても思えないし、昨年と今年の公表の理論だてからしてもおかしいと思つた。

市教委も、道徳教育に力を入れるとするならば、もっと信念にしがたがって、自らの責任を前面に!

今議会、議員提案で、「議員定数24の削減案」が議長を除く25人の内、賛成が22で、反対が3で可決。これまで議員の全員協議会が数回開催されたが、この会は、議決する会ではない為、各々議員の考えを表明するだけだった。

私は、「市民にアンケートを取って、民意を調べて、それにできるだけ応じては」と表明していた。

しかし、現実問題、私の見方は我々野党系は、8人なので、結局は、与党系で、どうまとまるかにかかっていると思つていた。

私は、「議員提案24名案」が出されるのを朝の新聞で初めて知った。私自身は鳥栖が7万人で22なので、5万人の武雄市は、22程度の削減は必要と思つていた。しかし、現実、24案が、出された以上、賛否を表明しないといけない。今回は24に不満でも賛成して、次回には、さらに各種団体要望の20名の削除に近づきたい。

また、公表は、学校の序列化につながるの考え方については、昨年との結果において各学校にはらつきがあり、序列化、固定化はなっていない」との妙な説明。

新幹線のフル規格と私の考え

元々私の新幹線への考えは、費用対しての時間短縮効果が少ないとの視点から、推進論者ではなかった。

しかし、地元同意が、県やJRにあるとの形になったので、賛否より、現状の計画をいかに、武雄市民の為に役立ち、又費用を抑えられるのが、市議としての課題に。

【フル規格化への動き】
民主党政権下で、諫早〜長崎間が、在来線利用から標準(フル)規格整備となり、残るは、佐賀県内の、新鳥栖〜武雄温泉間を在来線のフリーゲージストレイン方式から、全線フル規格新幹線にしようとの動きが、武雄市から、長崎までの5市を中心に活発化して来ていて、決起集会や議会でも意見書などが、提出されていて、武雄市議会も、県知事に対し国・長崎県・JRとフル規格実現の為の協議を求め意見書を今回提出。

【佐賀県の方針】
古川知事の発言は、県の多額の負担が、県民からの理解が得られないとして、県議会での答弁では、フル規格化の提案には、消極的方針である。フリーゲージストレイン方式で、約200億円の負担が1000億円になるとの試算もあり、時間短縮効果との経済性の観点からと思われる。

【国費全額負担の実現性】
武雄の樋渡市長は、フル規格化の要望と、同時に、全額を国費負担にするよう求めている。

市長の言うように、全額国費負担となれば、県も反対する理由はなくなり、フル規格の問題はない。確かに、東海道や東北新幹線は、国鉄時代、財政投融資などから借金して作ったが、その赤字が国鉄からJR民営化した原因の一つ。

その後、「全国新幹線鉄道整備法」にもとずき、整備新幹線5路線(北海道・青森・北陸・鹿児島・

長崎)が決定し、財源は国2:3で地方が1:3と法で定めて、進めている。

そんな状況を見る時、市長の言う、国の全額負担を前提とした、長崎新幹線のフル規格化は、他の4線との関係からしても、私は不可能ではないかと思つし、逆に問題が複雑化して完成が遅れてしまふのではないかと思っている。

長崎)が決定し、財源は国2:3で地方が1:3と法で定めて、進めている。

そんな状況を見る時、市長の言う、国の全額負担を前提とした、長崎新幹線のフル規格化は、他の4線との関係からしても、私は不可能ではないかと思つし、逆に問題が複雑化して完成が遅れてしまふのではないかと思っている。

【私の考える新幹線実現】
私は、以前、フリーゲージ用の車両をJR九州が、長期に制作し続けるのは難しいと思うので、3本線の、秋田・山形のミニ新幹線が、長続きするとの見方。

一方、フル規格にした予定ルートは、H12年環境調査の図面では、新鳥栖から、佐賀平野を通って多久のトンネル、北方町馬神に出て、武雄温泉駅へのコース。

そこで、一番、莫大な費用のかかる、東佐賀の平地をさけて、新佐賀駅を大和の方に作り、新鳥栖から、トンネルで行く形なら費用が抑えられ、実現も少しはあると思つた。

結局の所、私の考える案は、
①ミニ新幹線が便利
②フル規格ならば北部ルート(新佐賀)
③長崎県の受益に応じた負担

